

# 数字で見るボランティア常磐会の活動

1982年

北海道立旭川美術館のオープンとともに、ボランティア常磐会は生まれました。”美術館の事業内容をボランティア精神に基づいて協力・援助し、会員の美術に関する知識と教養の向上を図る”ことが、私たちの基本理念です。今も脈々と続けられているボランティア活動も、2012年で30年目を迎えます。

50名

常磐会の会員は50名で構成されています。月曜日の休館日を除いて、火曜～金曜は8名ずつ、土曜・日曜は9名ずつの会員が、当番制で月1～4回勤務にあたります。

14名

各曜日の会員の中から、2年の任期で役員が2名ずつ持ち廻りて選出されます。そのメンバーにより年9回ほどの幹事会が開かれ、美術館の展示会を巡っての協力事項、会の経営方針などの話し合いがされます。

6～8回

会員の全員参加による例会が、年に6～8回開かれます。そこでは、幹事会でまとめられた議案が提出され、検討されます。その他、毎年4月には年1回の総会が開かれます。

8セクション

日々の活動は、8つのセクションの幹事たちと会員の尽力により支えられています。この他に会計監査や会務監査を司る監事があり、代表、副代表、顧問の3人が、会の統括や美術館側との連絡にあたります。



# ボランティア常磐会

## 《庶務》

会員の名簿づくりや活動表づくり、各活動の記録収集にあたります。例会ごとに発行される会報誌「常磐会だより」の発行も重要な仕事です。

## 《会計》

帳簿整理や収支決算業務、取引商店や銀行等との折衝を行います。喫茶コーナーで販売するチケット類も作ります。

## 《物資》

喫茶コーナーで使用する材料の仕入れや在庫数の把握をし、時期を図りながら発注します。

## 《備品》

喫茶で使われる什器やエプロンなどの確認や補充、事務用品の購入と点検が主な仕事です。

## 《研修》

会員の研修会や解説講座の立案にあたります。また、各展示会のPRのため、ポスターやチラシ前売券を会員に手配して、協力を仰ぎます。

## 《親睦》

年1回の研修旅行、忘年会、新年会、総会など、会員の慶弔、退会者への記念品の調達にも関わります。

## 《常設売店》

受付横にある売店の商品購入、在庫管理、支払い等に携わります。商品のディスプレイにも関わります。

## 《特設売店》

特別企画の際には、期間に合わせてロビーの一角に売店が設けられます。その際に商品購入、在庫管理、支払い等を行います。

\* この他に代表、副代表、顧問の3人が、会の統括や美術館側との連絡にあたります。



喫茶



常設売店



特設売店



## 役員

◇ 代表	.....	1 名
◇ 副代表	（幹事・監事と兼務）.....*	1 名
◇ 幹事	┌ 庶務.....	1 名
	├ 会計.....	1 名
	├ 物資.....	1 名
	├ 備品.....	1 名
	├ 研修.....	1 名
	├ 親睦（* 特売兼務）.....	1 名
	└ 常設売店.....	2 名
	└ 特設売店（* 1 名親睦係兼務）.....	3 名
◇ 監事	.....	2 名
◇ 顧問	（代表退任者）.....	1 名

1 4 名

お問い合わせ・お申し込み

道立旭川美術館内  
ボランティア「常磐会」  
TEL 25-2577

